



議会だより

第 135 号

平成25年 2月15日発行

平成 23 年度各会計決算認定について ...	2 ~ 4
こんなことが決まりました	4 ~ 8
第 3 回議会臨時会	9 ~ 10
一 般 質 問	11 ~ 13
町の歴史・文化財紹介	14

(睦沢町指定有形文化財 ちゅうどうわにぐち・鑄銅鰐口)



成人のみなさん おめでとう

12月定例会



現地調査(佐貫)

算定の 決の認

平成24年第4回定例会は、12月14日に開催されました。決算審査特別委員会に付託された平成23年度各会計決算を認定、提出された12議案と発議案2件が質疑の後、可決されました。
一般質問は、3議員が行い町政の課題を問いました。

平成23年度一般会計外5特別会計決算を認定 地デジ難視対策アンテナを46か所に設置 中学3年生まで医療費助成拡大

(認定第1号)
平成23年度睦沢町一般会計外5特別会計歳入歳出決算
9月議会定例会において決算審査特別委員会に付託され、10月11日、12日の2日間にわたり審査されました。
12月定例会において、委員長から結果報告、討論・採決により、それぞれ認定されました。

決算審査特別委員会

審査結果報告

委員長 幸治 孝明

9月議会において審査を付託された平成23年度各会計決算は、慎重審査の結果、次の指摘要望事項を付して、原案のとおり認定することに決定しました。

○審査の対象

平成23年度一般会計外5特別会計決算

○審査の方針と方法

予定された事務事業が計画どおり執行されたか、また、その効果等について各常任委員会所管の事務事業ごとに審査を行いました。

○指摘要望事項

一、自主財源の確保は、財

政運営の安定性と行政活動の自主性を確保する上で極めて重要であることから、町税、国民健康保険税、介護保険料等について関係各課の連携による効果的、効率的な収納体制を強化するとともに、納税者等の個別事情に応じたきめ細かい収納対策を講じ、収納率の向上に努められたい。

二、財政状況の厳しい中、多様化する住民ニーズに的確に対応するよう、真に必要なサービスへの重点的な投資を図るとともに、業務

委託関連のあり方など柔軟

性を持つて対応し、経費の縮減に努められたい。

三、各種事業の実績を評価し、今後見込まれる事業の推進に当たっては、地域の実情に合った効率的な改修計画の策定とともに、経費の節減、合理化を図りつつ、国・県補助の推移を見極めながら、整備の財源確保に努められたい。



地デジ送信アンテナ(岩井)



決算審査特別委員会

一般会計

反対討論

市原時夫議員

緊急雇用促進臨時特別基金事業補助金の活用など、福祉事業との関連でも評価できる。学校へのバリアフリー化など一人一人を大切に

する姿勢のあらわれであり、熱中症対策なども前進し評価する。

一方、今回の決算書の特徴は第一に国の経済分析がなく、町の決算の合理性の説明がされていない。住民生活を支える独自の負担軽減策がなく、自然災害から

の安全という防災は、上からの指示計画づくり待ちで遅れている。
雇用や福祉、負担増、安全問題等、住民の根本問題にさらに積極的に取り組むべきだということ指摘し反対である。

賛成討論

今関澄男議員

国・県への積極的な働きかけで、財源確保に努め、インフラ整備、農業振興、健康・子育て支援に取り組み、また、厳しい財政基盤の中で財政積立基金への積み立てによる財務指標の改善は大いに評価できる。

用排水路の整備や協働活動の支援、もみ殻たい肥の活用によるエコ農業の推進、有害鳥獣、イノシシ被害の防止対策、在宅福祉サービスの充実、障害者に対する自主支援給付事業、避難支援計画の策定、避難支援者の把握、町民の健康維持、また予防を中心とした保健サービスの積極的な取り組み、病気の早期発見・早期治療に努めていること。

国保特別会計

反対討論

市原時夫議員

町道の維持補修工事の実施、防災機能の向上、地上デジタル放送アンテナを設置し地デジの難視の解消、子育て支援の取り組みは他の市町村に誇れる環境が整いつつあるなど賛成である。

国保のように人の命にかかわる問題の根本的な責任は国にある。憲法、法律を見てもそうだ。その国が、責任を次から次と放棄して自治体に押しつけている、ここに国保会計の問題があると考える。

しかし、その中でも町は、例えば保険証の取り上げ制度について、以前は「命にかかわること」として行わなかったわけだが、その後、導入した。

税の納入率の高さに見られるように行政と一緒にこの町をよくしたいという住民の意思があらわれており、それに応える町の負担や権



土睦小のバリアフリー化

利についての改善がなされなかったという問題がある。以上の理由から反対である。

賛成討論

市原重光議員

この国民健康保険は、やはり国民皆保険の根幹をなすものであり、日々充実が図られた。

本町においても高齢化率はもう30%を超える中、住民の医療保険を支え、安心して暮らせる生活に寄与し

ていると思う。
国保会計を取り巻く財政状況は極めて厳しい状況にある中で、一般財源からの法定外の繰り入れも行わず、繰越金等で基金確保もされるなど役割を果たしたと思う。

「健康・長寿のまちづくり」を推進し、町民が健康で長生きできるように、安定した国民健康保険の運営をお願いし、原案に賛成である。

介護保険特別会計

反対討論

市原時夫議員

これも根本的には国の制度の中の運営という問題がある。保険料の多くは自動的に差し引かれ、利用するにも、事実上高額な利用料が必要となる。利用施設も足りず、内容を充実すべき施設や施設職員の条件が一向によくならないなど、抜本的な改善が必要なものである。ただ、私は、町としては介護保険の枠内、枠外にとどまらず努力をされていることについて、評価するが、実際に利用する立場に立った場合、この介護保険の決算に賛成するわけにはいかない。反対である。

論

討

賛成討論

幸治正雄議員

町人口の減少と高齢化が進む中、介護認定者とサービス利用者数は年々増加傾向にあり、今後も介護給付費の増加が予想される。

給付費の増加を防ぐには、まず予防であり、年齢を重ねても介護を必要としない毎日生活できることが理想である。

町は、介護予防事業に加え、認知症予防教室や傾聴ボランティア養成講座など新たな事業に取り組んでいる。高齢者やその家族、住民から健康や福祉、介護などについての相談と、必要に応じた支援を地域包括支援センターで行っており、その件数も年々増加傾向にあり賛成である。

後期高齢者医療特別会計

反対討論

市原時夫議員

後期高齢者医療制度は収入の少ない人にとっては、ますます命はお金次第というような制度になっているといわざるを得ない。そして、これから後期高齢者が増えれば自動的にそれぞれ住民個人の負担が増えていくという制度でもある。



年齢で医療を差別する、こういう方式がこのまま続いているのか、国づくりのために一生懸命努力をされてきた高齢者の方が本当に安心して医療を受けられる、そういう仕組みに変えるべきだという視点から反対である。

賛成討論

市原裕一議員

保険料は平成23年度も前年度に引き続き、世帯の所得水準に応じた均等割額の軽減、所得割額5割の軽減措置が行われた。また、給付の面では、人間ドック助成事業をこの制度のスタート時から町は取り入れており、利用者は年々増加している。この助成制度が活用されていることから、一定の評価をし、賛成である。

こんなことが

決まりました

(承認第1号)

平成24年度一般会計補正予算(第5号)の専決処分

540万円を追加し、補正後の予算額は、29億4千887万5千円となりました。歳入は、繰越金を540万円追加しました。歳出は、災害復旧に伴う調査設計業務委託料等です。

質疑

市原時夫議員

災害か所だけではなくて、その周辺にも今後、こうした問題が起きる可能性があるのではないかと気がするが。町長 大雨によって柵渠が傾いてしまいました。あくまでも被災を受けたところのみということで、予防的なものについては対応できません。



大雨による災害か所 (大上)

こんなことが決まりました

(承認第2号)

平成24年度陸沢町一般会計補正予算(第6号)の専決処分

補正額は492万7千円を追加し、補正後の予算額は29億5千380万2千円となりました。

歳入は、県支出金として衆議院議員選挙委託金492万6千円と繰越金1千円を合わせて492万7千円となりました。

歳出は、12月16日執行の第46回衆議院議員総選挙に要する費用として492万7千円です。

質疑

荻野新衛議員 開票事務に携わる人は公務員でなければいけないのか。

選挙管理委員会書記長 公務員でなければならぬという決りは法律上ございません。

議員 一般の人たちも開票に何割か参加してもいいのでは。お金を薄く広く動かすという意味でも、選挙に関心を持ってもらう意味もある。



投票用紙自動交付機

町長 検討しながら、方向性を定めていきたいと思えます。

書記長 今後、選挙管理委員会です十分検討します。

幸治孝明議員 備品購入費の内訳は。

書記長 投票用紙の自動交付機は現在4台ありますが、不足しています。国政選挙時に追加で買わせていた

きます。今回、この自動交付機を5台購入するものです。

(議案第1号)

陸沢町一般職の任期付職員採用等に関する条例の制定

地方行政の高度化、専門化が進む中、公務内部では得がたい高度な専門的知識

経験を有する外部の人材など、期間を限って従事させる場合や、一定期間において業務量の増加が見込まれる場合等において、条例で定めることにより、採用することができるとされました。

本町においても、多様化、高度化する行政ニーズに対応していくため、この条例を整備し、任期つきで採用することができるよう環境を整えるものです。

質疑

市原重光議員 特に、必要とされる業務とあるが、その内容は。

町長 新年度予算に農業関係の基金を設けて集落営農を進めるため、県の農業の普及員ということ、過去に手腕を発揮してくれたという方がおります。そういう方を想定しております。



川島営農組合乾燥調製貯蔵施設

集落営農関係、認定農業者の規模拡大等についても相談に乗れるような専門的な技術員をお願いする考えでおります。

議員 その職員の給与・号給は。

総務課長 給料月額については、県と全く同じ給料にします。

こんなことが決まりました



こども園の豆まき

荻野新衛議員 国や県から30から40歳前の職員を入れて、空気をがらつと変える、そういう効果を図るべきではないか。

また、採用による効果を得る覚悟は。

町長 今年の4月、あるいは昨年の4月に、県からも若い職員を町村に派遣して、町村の勉強をする制度があり、お願いをしていました。

しかし今回は、畜産についてもかなり精通している方なので、かずさ有機センターにも、てこ入れしたい

ということからこのような形をとらせていただきたいと思っております。

市原時夫議員 職員採用の審査方法は。

総務課長 千葉県に紹介依頼をした中で町長が決定を

していく考えです。

議員 特別職採用にすることも可能だ。こうした制度を作る必要はない。保育士など特別な採用という枠で事実上、自治体リストラになりかねない。

課長 あくまでも一時的なものですよ。

(議案第2号) 睦沢町若者定住型賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の制定

町が若者向けの優良な賃貸住宅を設置し、若年層の定住及び活性化を促進することを目的とします。

賃貸住宅はリバーサイドタウンと称し、場所は上之郷字女ヶ堰です。

質疑

市原時夫議員 入居の後、有償譲渡となった場合、その先の売買、そこでの商売は。

企画財政担当主幹 規定で縛ることはできないので自由です。

議員 自治会活動など地域と仲良くすることが大切では。

主幹 入居、譲渡の場合も自治会に加入していただきます。

議員 7割売れると見込んでいるが根拠は。

町長 一宮駅からの通勤、好きな家を選べる、その後購入できるなど魅力があります。7割といわず100%



若者定住型賃貸住宅建設予定地(上之郷)

と意気込んでいます。

議員 建物をつくる前に入居者を決めるということか。

町長 入居者の希望によるものをつくっていきます。

今関澄男議員 住宅の有償譲渡などの魅力を大いにPRすべきだ。

この間の住民懇談会での学区説明が一部変わったが、小学校の統廃合をどう考えていくのか。

学区を始め今後の小中学校、こども園の検討委員会の組織は。

町長 慎重にも慎重を重ね、一定方向が見えた時には大胆に改革を進めます。

教育長 検討委員会のメンバーはこども園、小中学校

の保護者代表、こども園を含めた、学校代表それに議会代表を考えています。

議員 小中一貫教育についてどう考えるか。

町長 検討委員会、住民との対話集会に加え町からの情報発信、アンケート調査活用等により方向性を大事にしたいと思います。

田中憲一議員 住宅建設予定地の地盤チェックは。

また、業者選定など地場産業との連携は。

副町長 町内業者に協力を願いたいと思っています。

企画財政担当主幹 地盤調査は補正の調査費に組んでおります。

こんなことが決まりました



新たな建築も始まった長者住宅団地

幸治正雄議員 入居資格で、事実婚の場合はどうか。

また、増改築での町長承認とは何か。

入居者が警察の介入を生じさせる行為は不可とあるが家族も含まれるか。

管理人を置くところがあるが。

主幹 婚約者の場合は親の証明書で、可ですが、事実婚は無理と考えます。

町長の承認で可能な範囲は軽度のものです。

また、犯罪行為は家族も含まれます。

管理者は職員がなります。

田邊明佳議員 睦沢にしかできない定住促進をすべきと思うが。

町長 内容の拡充を考えています。

荻野新衛議員 効果について聞きたい。

町長 若者が住むことで活気が出てきます。地道ながら子育て支援から全体を考え進めてまいります。

市原重光議員 役場職員が町外に住むことについての考えは。

町長 町内に住むよう理解を得られるように、進めてまいります。

反対討論

荻野新衛議員

3億2千万円かけて18戸で費用対効果はどうなのか。小さな町が投資できるのか。厳しいと思う。時代が変わり住宅を建てて人を増やすには遅い。それより、町が子供の教育など、色々な角度から若者定住を考えるべき。安い家賃とか補助をすることでは本当の定住にはならないと考え反対です。

賛成討論

市原時夫議員

町長が人口問題に一歩踏み出す、そこで住民がまちづくりをどう考えていくか。起爆剤にする全体の中の一つとして進めてもらえば良いと思いい賛成です。

賛成討論

田中憲一議員

睦沢町の教育、子育て、各種施設に加えて、住む部分を考えることは一歩踏み出した前向きな事業として評価し賛成です。



消防第5支団出初式

(議案第3号)

睦沢町議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定

地方自治法の一部を改正する法律が平成24年9月5日に交付されたことに伴い、政務調査費の名称を政務活動費に改めるものです。

設の送信アンテナの移設と一か所の増設を行うものです。

質疑

市原時夫議員 移設費用はどうなっているのか。
企画財政担当主幹 施工業者の負担となっています。

(議案第4号)

睦沢町テレビ難視聴対策施設の設定及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

岩井地区の一部において敷地内で安定した受信ができない世帯があるため、既

(議案第5号)

睦沢町職員定数条例の一部を改正する条例の制定

平成25年4月1日から社会福祉士を1名採用するため職員定数を62人から63人にするものです。

こんなことが決まりました



まちなか元気会 逸品市

(議案第6号)

町道路線の認定

町道1764、1765、1766号線を平成25年度から実施予定の睦沢町若者定住型賃貸住宅地内を通る町道路線として認定するものです。

(議案第7号)

長生郡市広域市町村圏組

合規約の一部を改正する規約の制定

(議案第8号)

九十九里地域水道企業団

規約の一部を改正する規約の制定

(議案第9号)

千葉県市町村総合事務組

合規約の一部を改正する規約の制定

(議案第10号)

平成24年度睦沢町一般会計補正予算(第7号)

9千563万1千円追加し、補正後の予算額を歳入、歳出でそれぞれ30億4千943万3千円となりました。歳入は、普通地方交付税の決定に伴う追加等です。歳出は、総務費で名誉町民の表彰及び住宅取得奨励金や土地取得補助金の追加地域活性化住民提案事業の追加です。教育費は、事務局を中央公民館に移転する費用を計上しました。

質疑

今関澄男議員 地域活性化住民提案事業の内容は。圏央道の開通の見通しは。

企画財政担当主幹 6団体からの申請がありました。

地域振興課長 今年度中に開通の予定です。

市原時夫議員 公民館改修

工事による効果は。

市原重光議員 耐震はどう

なっているか。

生涯学習担当主幹 耐震では問題ありません。

副町長 さらに交渉します。



名誉町民称号授与式

(議案第11号)

睦沢町名誉町民の推挙

名誉町民推挙に伴い、次の方に同意しました。

住所 睦沢町上之郷

1147番地1

氏名 故 河野 功 氏

(議案第12号)

睦沢町名誉町民の推挙

名誉町民推挙に伴い、次の方に同意しました。

住所 睦沢町上市場

1504番地1

氏名 飯塚 泰治 氏

(発議案第1号)

睦沢町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定

(発議案第2号)

睦沢町議会会議規則の一部を改正する規則の改正

以上の2件は、地方自治法の一部を改正する法律が公布されたことによる改正です。

教育課長 公民館の休館日を廃止し、利用しやすくします。

田邊明佳議員 投資により施設としての寿命が延びるのか。

教育課長 改修による建物の寿命延長はありません。

市原重光議員 耐震はどうなっているか。

生涯学習担当主幹 耐震では問題ありません。

副町長 さらに交渉します。

荻野新衛議員 耕作放棄地の解消はどうなっているのか。公有財産の購入で不動産鑑定士を通じたのか。

農業委員会事務局長 地域と協議を行い、助成する等の予算措置を考えます。

副町長 近隣の不動産鑑定を参考にしています。

議員 町の支出を減らす努力をしているのか。

副町長 さらに交渉します。

副町長 さらに交渉します。

名誉町民の推挙



たい肥用もみ殻

一般職の職員の給与に関する条例に、新たに単身赴任手当を追加するものです。

**（議案第1号）
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定**

平成24年第3回議会臨時会は10月9日に開催され、提出された5議案を質疑の後、可決しました。

**平成24年第3回議会臨時会
かずさ有機センターの
施設使用料見直し**

質疑

市原時夫議員 職員の派遣要請に対し、県内市町村ではどの程度決定しているか。
町長 千葉県全体で30名前後の要請に19名でもう少し必要かと思えます。
議員 仕事の内容は。
町長 防災計画の作成を主にやるということで半年の派遣です。
議員 6か月というのが2次のな派遣要請があるのでは。
町長 要請では半年から1年というものです。

**（議案第2号）
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定**

睦沢町職員の旅費に関する条例の普通旅費に着後手当を追加するものです。

質疑

市原時夫議員 どのような計算で出た額か。
町長 他市町村と待遇面において差がないようにと、ほぼ千葉県、他市町村と同じです。
議員 被災地で働く中での様々な不利益や不都合の問題を具体的に洗い直し、検討してはどうか。
総務課長 派遣期間中に帰ってくる場合の旅費は赴任と帰任は宮城県山元町（赴任先）で負担します。

質疑

**（議案第3号）
睦沢町使用料条例の一部を改正する条例の制定**
かずさ有機センターの施設使用料の見直しに伴い、睦沢町使用料条例の一部を改正するものです。

岡澤宏一議員 畜産公害は地元の方も苦慮している。全量を持ち込むという固い約束が必要では。

町長 町も運営費を補助していただきますので厳しく当たっていきたいと考えています。
田中憲一議員 不法投棄に対する取り組みは。
町長 取り締まりについては県の家畜保健所になります。
議員 禁止行為のラインは。
町長 禁止されているのは野ざらしです。



たい肥散布作業

市原時夫議員 農業の今後の方向ということも含めた展望を示すべきでは。
町長 その通りですが、補助制度等も陳情などで採択要件が緩和し該当になったものです。



被災地山元町で頑張る町職員

荻野新衛議員 家畜ふん尿処理のコストは。かずさ有機センター長 把握しておりません。今後調査します。

議員 1頭あたり1万7千円を払えばセンターが全て処理するのか。

町長 料金を支払えば、全量センターで処理します。

議員 畜産農家の使用料がわずか6か月で改正か。運営協議会で来年4月という話はなかったのか。

町長 ふん尿の搬入が思わしくないなので、早急に手当てするという意味合いです。

議員 睦沢町に畜産公害があるのか。

町長 公害が出ているという話は聞きませんが、環境は非常に厳しいという意見は伺っています。

反対討論

荻野新衛議員 半年ですぐに変えるというのには稚拙ではないか。その点を反対とします。

賛成討論

市原時夫議員

問題はありますが、今後の農業のあり方を検討していただくということも含めた点では一定評価をせざるを得ない。賛成です。

賛成討論

市原重光議員

色々あるにしても基幹産業の農業を推進し、ふん尿処理等の環境問題も含め、一石二鳥である。酪農家に決まり事をしっかりと守ってもらい、町長に前向きにやっていたかどうかという期待を込めて賛成です。

(議案第4号)

平成24年度睦沢町一般会計補正予算(第4号)

175万8千円を追加し、歳入、歳出をそれぞれ29億4千347万5千円とするものです。

歳入は、宮城県山元町からの災害派遣負担金として270万1千円、繰越金を財源調整のため94万3千円減額しました。

歳出は、被災地派遣職員



に係る職員手当及び旅費30万3千円、派遣職員に係る人事異動に伴うもの及び産休予定職員、年度中途による退職職員の補充など、臨時職員に係る費用286万2千円を追加しました。

このほか、かずさ有機センター特別会計繰出金を140万7千円減額しました。

質疑

市原時夫議員 最終的な財源はどこか。山元町の負担が増えるのでは。

総務課長 国から山元町に支払われ、そこから派遣団体の市町村の費用を負担する形です。

(議案第5号)

平成24年度かずさ有機センター特別会計補正予算(第1号)

たい肥販売による事業収入の増額、施設使用料の改正に伴い、歳入総額に変更ありませんが、予算項目において額の補正をするものです。

一般質問

市原 時夫 議員

町政の課題を問う

町の歴史と伝統を生かし
子育て支援のまちづくりを

町長 後期計画に位置づけ



監査委員報告にもあるように、子育て支援の歴史と伝統・施策は子育て世代にとって陸沢町の大きな魅力だ。

行政と住民自身が子育て支援を充実してきた力を活かし、町として大きく打ち出すべきでは。

町長 本年度策定中の後期基本計画のテーマの一つに位置づけられます。

議員 仕事がない状況は、戦後政治の大企業への優遇策の責任だ。庶民の所得を減らし、国内の生産をしないという悪循環を変える必要がある。

町として、大規模な太陽光発電や住宅リフォーム・家具転倒防止設置助成金、学童保育指導員の待遇改善など、地域経済・雇用創出に取り組みべきでは。

町長 リフォーム助成は来年度創設を考えています。太陽光発電は、民間からの問い合わせもあり、土地の有効活用の制度も検討しています。また、長南ガス

利用者として発電につなげる施策も検討しています。家具転倒防止は検討します。学童保育指導員待遇は現行で進めます。

教育を受ける権利を大切に

豊かな人格・知識を培う場所として

議員 教育の基本である、知育・徳育・情操・体育の総合的な、こどもの学習権に應える基本を明確にした教育支援を行うべきと思うが。

教育長 学校は、豊かな人格形成と必要な知識を培う

場所であると考えます。

両小学校での生徒の学力は県内で相対的に見た場合大きな差はないと認識しています。統合問題は、保護者や地域の方々の総意をいただき検討します。

いじめ問題への対応は

生徒・学校・保護者一体で

議員 全国的に深刻化するいじめ問題には、命を守り抜くことを第一に、総合的な検討をすべきと思うが。

また、教育委員会がより保護者・住民の多様な意見を採り上げ、住民参加型の教育にしていく上でも、公

選制が必要と思う。当面、準公選制を導入すべきでは。

教育長 個別の相談だけでなく、相談箱の設置、アンケートの実施、心のノートを活用など生徒と学校、保護者が一体となった取り組みを行っております。今後



も連携を図り、いじめが起こりにくい、またいち早く対応できる対策を考えなくてはと思います。

委員会制度は現状でいきます。

議員 給食の自校方式充実や学校への専門司書や洋式トイレへの転換、図書館設置など教育環境の充実は。

教育長 こども園の4歳児、5歳児も洋式へ検討します。他の教育環境問題は、検討します。

議員 若者定住を進める上で、ゴミ袋の値下げも検討してはどうか。

町長 郡市で話もありましたが引き続き検討します。

一般質問

田邊 明佳 議員

通学路の安全地図の 作成・公表は

町長 本年度中に点検し地図を保護者に配布



通学路の安全点検及び安全対策の状況、安全地図の作成、公表は怎么样了か。

教育長 本年度に点検し、地図を各保護者に配布させていただきます。

議員 暗がりが続く場所、民家がなく見通しの悪い場所等も調査しているのか。

教育長 イノシシの出没場所、見通しの悪いところや不審者のでた場所、川がある場所についても表示をしています。

議員 一人きりで通学せざるを得ない子供もスクールバスの対象にしてはどうか。

教育長 通学距離がおおむね3km以上の1、2年生を

対象にしています。下校時1人になってしまいう児童についても利用されています。特に瑞沢小でイノシシの危険がある通学路についても利用しています。

議員 中学校の部活で遅くなり一人で帰ることを嫌がった家族が一家揃って町外に出てしまったという話もある。中学生まで範囲を広げても良いのではないか。

教育長 将来の学校を考える検討会を立ち上げ、その中で検討したいと思います。

緑内障への 取り組みは

来年度から 眼底検査を実施

議員 成人の失明原因の1位は緑内障と言われ、40代から発症が増え始めるといわれている。眼圧、眼底検査など独自の眼科検診を行っている自治体は全国で42である。本町の取り組みはどうなっているのか。

町長 来年度から健診受診者全員を対象に眼底検査を実施します。



住民健診

議員 住民の方から「町民アンケートが個人を特定できるといふような作りになっている、個人情報を守られないのではないか」とのご指摘を受けた。これでは正しいアンケート結果を得られないのではないか。

町長 町が調査票を元に個人を特定することはありません。しかし、不安を感じたということですので、今後は目的外使用することのないことと合わせ、個人を特定することのないことや、守秘義務の遵守など明確に記載させていただきたいと思えます。

議員 有害鳥獣対策は、万全な体制で取り組んでいるのか。

町長 本年度、佐貫地区に

795mの金網を設置、新規に小動物用のおり5基を千葉県より借用しました。畷免許は2人の方が取得する見込みです。

議員 道路台帳で現況交通不能区間となっている橋について、重量制限等の規制はしたのか。

町長 主要幹線道路や防災等に欠かせない橋梁から順次維持改修を進めるため、新年度予算にも計上したいと考えます。また日常的な維持管理としまして排水にある土砂だまり等の土砂の撤去、損傷の要因となる事柄についても耐久性を維持するよう措置をまいります。

道路台帳の記載につきましては、注意書き等を入れて一般の方にも誤解されないよう改め、ホームページ等に載せます。

地域振興課長 道路台帳の交通不能区間は、今のところ重量制限をするような報告はありませんが、危険があると判断された場合にはすぐ対応をさせていただきます。

一般質問

荻野 新衛 議員

発想の転換について

町長 選択と集中によりスピード感を持って



教育委員会議

厳しい時代を迎えるなか、行政に発想の転換が求められる。このことは、一般行政だけでなく、教育委員会、農業委員会などにも求められる。発想の転換についてどう考えるのか。

町長 町には、財産がたくさんあるので、この活用も大切だと思います。

資料館は町の貴重な歴史資料があり、それを地域おこしに活用、総合運動公園を住民の健康管理に活用するなど考えています。

住民の望んでいることを見極め選択と集中によりスピード感を持って運営していく考えです。

統合して睦沢小学校の考えは

協議を深め次に向かつて

議員 過去、中央団地の学区の決定について、色々あったが瑞沢小学校区に決定した。瑞沢小学校の建て替えについても色々あった。

瑞沢小学校、土睦小学校の今後の推移等を考えれば統合して睦沢小学校という発想で進めるべきと考える。全員協議会に提案された上之郷地区の住宅建設に関

係する学区の検討は別の方向で進めるということだが、関係者は各々、自分たちの職責を良く理解していただきたい。

町長 町民が非常に関心を持っており、先のことを考えてくれていることもわかりましたので協議を深め、声を尊重しながら次に向かつて明確に方針を出しながら進めます。

学力向上へ土日夏休みの利用は

今後検討し対応します

議員 義務教育の段階で所得差によって、学力、成績に差が出ることは良くないと考える。

睦沢としての独自の教育方法が必要と思う。

視察した南房総市では独自に土曜、日曜、夏休み等利用したなかで、学力向上対策を行っている。教育長も視察したなかで、睦沢町

の特性を生かしたなかで考えるべきと思うが。

教育長 土曜日に授業をするかは今後検討しなければと思います。底上げなどについては検討しつつ対応していきたいと思います。

議員 睦沢の子供たちの生きる力や学力アップをどうするかということですが、人口増加対策もハードだ



土睦小学校

けでなくソフトの充実で人口増加を考える時代で、教育委員会の役割は非常に大きい訳で、その点を認識していただきたいということです。

教育長 交付金事業等のかで検討します。

議員 万が一学校関係のなかで事故、事件があった場合の責任者はどうなっているのか。

教育長 施設面については町長、教育に関する事務では教育委員会、小中学校・こども園の運営では学長・園長です。教育長は、教育委員会の事務の長です。事務的分野については教育長です。

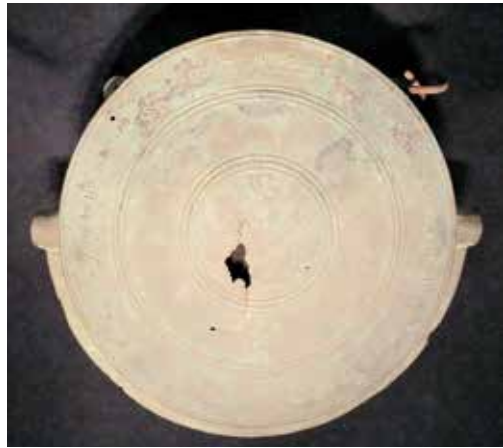
町の歴史・文化財紹介

陸沢町指定有形文化財

「鑄銅鰐口」

鰐口とは寺や神社の向拝や拝殿につり下げられた用具で、参拝のときに打ち鳴らすものです。

(写真1)の鰐口は、妙楽寺本堂に懸かっています。青銅の鑄物で、直径50・8cm、厚さ21・5cm、重さ21kgもある大型の鰐口です。中心の打ち鳴らす撞き座という場所には8枚の花弁が二重にある蓮の華の文様「八葉復弁蓮華文」があり、これを中心に内側から3条(中太)、3条(中



(写真1) 妙楽寺本堂に懸かっていた鑄銅鰐口

津や勝浦から北は市原や横芝までの千葉県中部域。「千町庄」は南北朝から見える地名で、現在のいすみ市須賀谷・能実・松丸など旧千町村を中心に岬町と陸沢町の一部を含む領域。「川音村」は、妙楽寺地区に川音

太)、2条(外太)の帯線を鑄出して、撞座区、内区、外区に分けられています。一番外側の外区が銘帯で、片面向かつて右側に

「上総国千町庄川音村等覚山妙楽寺本尊大日之鰐口也別當忠度并念佛一結本願村杉新兵衛」、左側に「于時寛永十年癸酉十二月吉日大工東金之内中村庄九郎」と鑄出し銘があります(写真2)。



(写真2) 鑄銅鰐口拓本

という小字がある場所です。

現在妙楽寺の山号は「東岳山」としていますが、当時は「等覚山」と表記されていたのかもしれませんが。「別当」とは寺社の責任者のことですが、「忠度」とは僧侶の名前のようではないので、僧籍ではない寺の役員のような人だったかもしれません。妙楽寺地区には村杉姓の人がいるので、「村杉新兵衛」も妙楽寺地区の人だったでしょう。

「寛永十年癸酉」は1633年で江戸時代初期の癸の年。「大工」とは元々は木工に限らず職人を統率する人で、ここでは鑄造技術者の責任者のことです。

東金の中村庄九郎という人の工房が鑄造したものでしょう。

この鰐口は江戸時代初期の上総国内に住んでいた鑄物師の作品として意義があり、文化財として貴重なもので、1996(平成8)年3月27日、陸沢町指定有形文化財として指定されました。現在、資料館に寄託されて、このたびの企画展「開館30周年記念第10回館蔵名品展」で展示中です。

陸沢町立歴史民俗資料館
学芸員 久野 一郎

議事を傍聴しませんか

第1回(3月)定例会は
3月5日(火)から
開催の予定です。

詳しくは、
議会事務局 44-2510へ
お問い合わせください。

編集後記

編集の作業も、私が最初に参加させていたのだと、きには、タブロイド版で、鉛筆でのレイアウトでしたので、消しゴムで消しながら大変時間のかかる作業でした。今は、A4版の大きさが全国的な主流のようです。議会事務局の協力も得ながら、パソコン編集も活用しながらの作業に変わりました。

写真もすぐに見ることができるようで、こうした技術の進歩は、作業の効率化に役立っていると思います。議員の活動は、本会議の中だけではありませんので、常任委員会の活動の様子などもお伝えし、議会の内容が分かりやすく、全面的に魅力あるものにと考え、昨年は全県の議会だより研修にも行ってきました。みなさんの声を聞きながら、さらに、考えながら編集作業をすすめて行きたいと思えます。

T・I